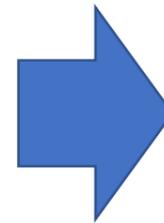


平和公園西地区の基本方針(案)  
ゾーニングとゾーン別整備方針(案)  
歩行者動線計画(案)

第7回委員会

『平和を感じ、交流するゾーン』

- ①多様なニーズに応じた、平和を発信するスポーツ環境の創出
  - 長崎南北幹線道路の整備を契機として、スポーツ施設の再配置を図るとともに、多様なニーズに応じたスポーツやイベント等を通じ、平和を発信する空間を形成します。
- ②市民に身近で、平和の尊さを感じられる憩いの空間の形成
  - 市民が日常的に集い・安らげる居心地の良い空間、水や緑とふれあえる空間、安全・安心を支える防災力を備えた空間など、日々の生活の中で平和の尊さを感じられる空間を形成します。
- ③長崎の新たな玄関口としての機能強化
  - 長崎南北幹線道路の整備により設置される（仮称）松山 IC からの来訪者を迎え入れる機能を強化するとともに、東地区と旧城山国民学校校舎とを結ぶ象徴的な空間を形成し、円滑な移動を確保します。
- ④連携と調和による機能的、魅力的な空間の形成
  - 周辺施設等との機能面や空間面などでの連携による公園としての機能向上や、景観的な調和により魅力的な空間を形成します。
- ⑤効率的で効果的な施設整備と管理運営
  - 官民連携手法や ICT の活用などにより、効率的で効果的な施設整備と、市民参加を促しながら、将来にわたり持続可能な管理運営を行います。



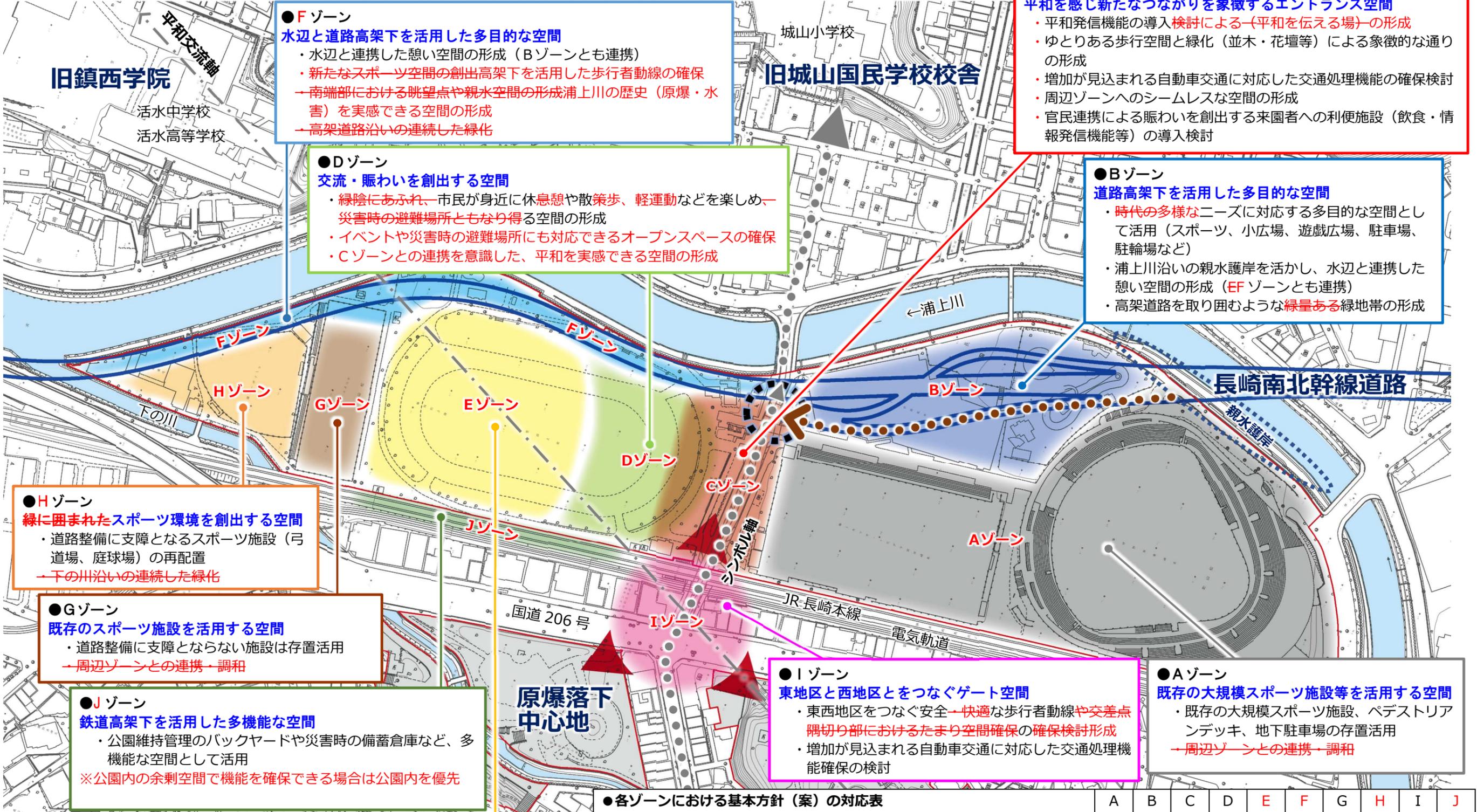
第8回委員会

『平和を感じ、交流するゾーン』

- ①多様なニーズに応じた、平和を**実感**するスポーツ環境の創出
  - 平和公園開設当初からのスポーツゾーンの**コンセプト**を引き続き維持し、多様なニーズに応じたスポーツやイベント等を通じて**楽しみ**、平和を**実感**するスポーツ環境を創出します。
- ②市民に身近で、平和の尊さを感じられる憩いの空間の形成
  - 市民が日常的に集い・安らげる居心地の良い空間、水や緑とふれあえる空間、安全・安心を支える防災力を備えた空間、**景観的に調和がとれた空間**など、日々の生活の中で平和の尊さを感じられる空間を形成します。
- ③長崎の新たな玄関口としての機能強化
  - 長崎南北幹線道路の整備により設置される（仮称）松山 IC からの来訪者を迎え入れる機能を強化します。
- ④平和を伝える**機能向上の動線形成**
  - 西地区における地域の歴史を伝える場をつくり、浦上川（水辺空間）、東地区、旧城山国民学校校舎につなげる動線を形成します。
- ⑤効率的で効果的な施設整備と管理運営
  - 官民連携手法や ICT の活用などにより、効率的で効果的な施設整備と、市民参加を促しながら、将来にわたり持続可能な管理運営を行います。

## 2. ゾーニングとゾーン別整備方針（案）

ゾーン別整備方針では、各ゾーンの整備コンセプトと、具体的な整備の方向性を示しています。



●各ゾーンにおける基本方針（案）の対応表

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
① 多様なニーズに応じた、平和を実感するスポーツ環境の創出	◎	○	-	-	◎	-	◎	◎	-	-
② 市民に身近で、平和の尊さを感じられる空間の形成	-	○	◎	◎	-	◎	-	-	-	-
③ 長崎の新たな玄関口としての機能強化	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-
④ 平和を伝える機能向上の動線形成	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	-
⑤ 効率的で効果的な施設整備と管理運営	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

### 3. 歩行者動線計画 (案)

- 電車・バスの公共交通機関や松山町市営駐車場からの連続性を踏まえ、目的別に歩行者動線を分けるなど西地区全体を安全・安心に移動できる歩行者動線ネットワークをサイン等により形成します。
- Cゾーンに、西地区における歴史を伝える場をつくり、浦上川（水辺空間）、東地区、旧城山国民学校校舎につながる動線をサイン等により形成します。
- Cゾーン（市道松山町線）は、ゆとりある歩行空間や周辺ゾーンへのシームレスな動線を確保します。
- 浦上川左岸には、憩い、地区の歴史を知るための水辺休憩広場を確保し、浦上川と稲佐山を望む眺望点とします。

